

令和7年 4月 1日

養護教諭の皆様

石川県養護教育研究会
会長 青木 正美

石川県養護教育研究会加入お誘いのお知らせ

石川県養護教育研究会は、県内全校種の養護教諭で組織される任意の研究団体です。県教育委員会や県学校保健会、小中学校教育研究会にも認められており、後援を受けながら活動している研究会です。毎年、多くの養護教諭の方に加入していただき、活動しています。

是非、今年度もご加入いただき、養護教諭としての資質を一緒に高めていきましょう。研究会の概要について、下記のとおりご案内します。

1 石川県養護教育研究会とは

本会は会員の資質向上と連携を図り、石川県学校保健の発展に寄与することを目的とし、昭和23年11月に発足しました。会員は、県内幼稚園等、小・中学校、高等学校、特別支援学校、教育委員会事務局その他に勤務する養護教諭をもって組織されています。

2 会員になると

- ・ 研究会主催の養護教員研究協議会(7月29日)に「出張」で参加することができ、県内の養護教諭と共に研修し、交流を深めることができます。
- ・ 研究会のホームページ等から執務の参考になる情報を得ることができます。各種関連団体や、全国組織との協力、連携関係により情報が早く得られます。
- ・ 研究支援アドバイザーによる研究支援を受けることができます。
- ・ 研究集録(年1回発行)が届きます。

3 会費について

- ・ 会費は年間3,000円です。会員の皆様からの会費で会が運営されています。
- ・ 参集での研究協議会を開催するため、会場費、講師等謝金が必要になります。
- ・ 石川県からの研究助成金や、支援団体(県学校保健会、石川県予防医学協会)からの研究助成金を会費と合算し、運営・活動に充てています。
- ・ 講師や育休・産休中の方、再任用や非常勤の方、養護助教諭の方も、会員になることができます。また年度途中の加入も可能です。
- ・ 会費納入方法、研究協議会等についてご不明な点は、各地区委員にお問い合わせください。

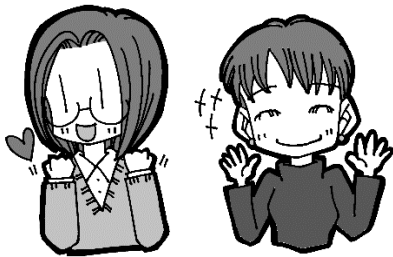


仲間からのメッセージ

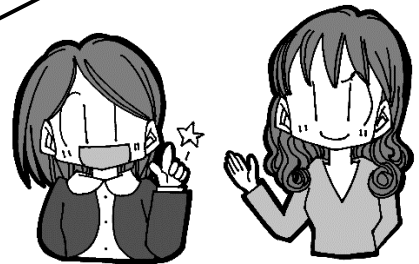


地区委員を経験された先生方からの研究会加入のお誘いメッセージです。オンライン研修や紙面発表が増え、仲間同士で顔を合わせて意見を交流する機会が減りつつあります。各学校の養護教諭一人ひとりが現代的な課題に対応していく力をつけるために、仲間と共に学び合う活動を大切にしていきます。今年度も、石川県養護教育研究会をよろしく申し上げます

令和7年度は研究協議会の「参集型」が復活！校種や地区が異なる養護教諭の先生が一堂に会し、ともに学ぶことができます。自校の子どもたちに活かせる他校の教育実践や講演会はとても勉強になります。同じ石川県にいながらなかなか知ることができない能登半島地震の対応など経験知を共有できる機会でもあります。基本的にはひとり職である養護教諭が日頃の執務の悩みを分かちあい共有できる心強い会です。みなさんも一緒に学びあいましょう。



地区委員を経験して、この会ってすごいと感じました。校種や地区をまたいでの情報交換はもちろん、他県の情報もいただいたり、震災の時にはハンドブックを送ってくださったり…。これまで活動を続けてきたからこそその「つながり」があり、とても素敵だと感じました。自分たちが学びたいことを、自分たちの手で企画運営していくことはとても自分たちを鍛えてくれます。会費以上の価値がある会だと思います。



校種を超えて多くの先輩方から学ぶことができる研修会は、自身の知見を深める貴重な機会となっています。一人職だからこそ、同じ職種同士、横の繋がりが大切だと感じています。

自分たちでつくる会なので、自分たちが今知りたいこと、必要と感じていることについて学びを深めることができます。

ぜひ、みなさん一緒にこの会をつくっていきませんか。

役員より

令和7年の研究協議会は、能登半島地震で被災された先生方がシンポジストとなり珠洲市・輪島市・穴水町の様子、小学生・中学生・高校生の生活、養護教諭の執務の実際のお話を聞くことができるチャンスです。参加者の皆さんからのご意見や感想もぜひお願いします。

午後の分科会では、3名の先生方の実践発表後にグループ討議時間をもちます。危機管理やICT活用を学ぶ研修もありますので主体的な学びの機会としてください。

